

## 包 括 的 公 表

2021年10月～12月に報告された医療事故のうち、包括的公表となる事例は下記のとおりです。

No.	発生場所	概 略	再発防止策
1	病棟	持続的血液透析濾過（CHDF）の回路接続外れによる抗凝固剤の未投与のため、ダイアライザーがつまった。静脈圧を確認しながら返血し回路交換を実施した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ CHDF など体外回路へ、薬剤注入のためシリンジ、ラインを接続する場合は、回路側と薬剤注入側とが確実に接続されているか確認する。</li> <li>・ 体外循環回路へ抗凝固剤が未投与となった場合は、回路内に血栓が生じやすいことを想定し、多職種、複数人で回路の点検を行い、アラームには速やかに原因検索し、対応する。</li> <li>・ ルアーロック式コネクタの接続は、各接続部分をまっすぐに差し込みロックを回す。</li> </ul>
2	病棟	出生時に装着したリストバンドによる皮膚損傷	<p>当該部門内のルールとして、以下の内容を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入院が7日経過したら、リストバンドを一旦取り外し、皮膚の観察を行う。</li> <li>・ 7日毎で装着部位を変更する。</li> <li>・ 勤務毎にリストバンド装着部の皮膚状態を観察する。</li> </ul>

3	手術室	人工肘関節置換術中、上腕骨、尺骨コンポーネントを固定する際、尺骨の骨が穿孔し、固定用のセメント漏れた。その後、環指・小指のしびれの持続、人工肘関節の固定具の緩み、インプラントの穿孔を来し、2度の再手術が必要となった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>骨の脆弱性が高い患者に人工関節置換術を行う場合、術前のCT、MRIにより骨の状況を十分に確認して手術計画を立てる。</li> </ul>
---	-----	--	---